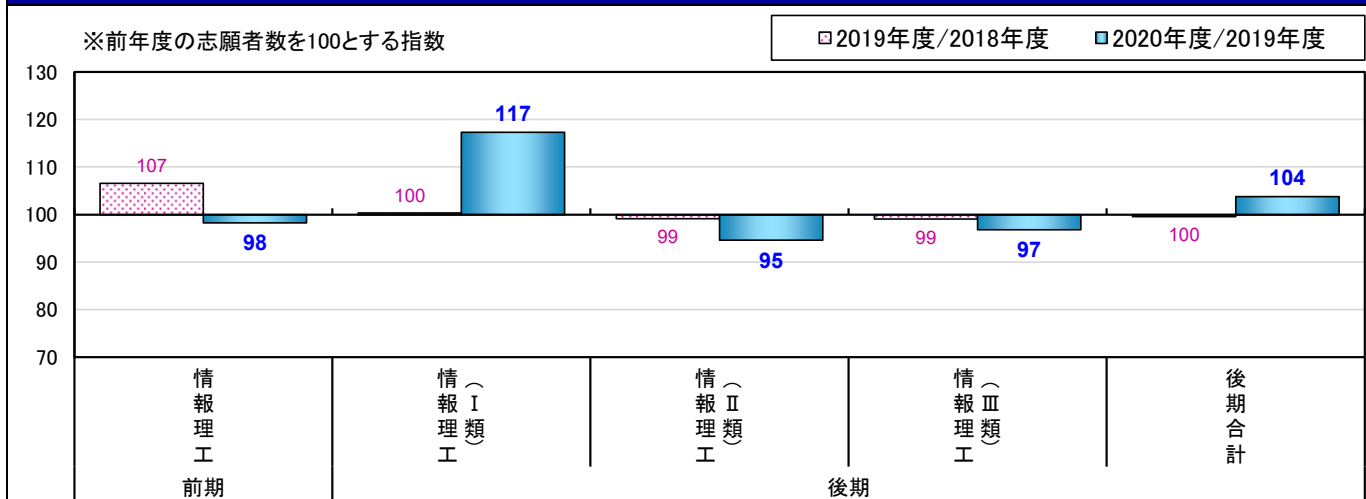


2020 年度入試状況分析【国公立大】

電気通信大：前期は微減、後期は募集方法変更後最多の志願者数 前期：-30人 後期：+90人



COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は30人(98)の微減だが、2年ぶりの減少。後期は92人(104)のやや増加、過去2年間は前年度並だったが、今年度は2016年度の募集方法と募集人員の変更以降では最多の志願者数だった。

<前期日程>

○情報理工(98)は、微減。2016年度に募集方法と募集人員の変更を行ったが、2017年度以降、前年度の増減による反動が継続。

<後期日程>

○情報理工(104)は、やや増加。志願倍率は9.7倍→10.1倍とアップし、10倍を上回った。類別では、系統への人気が高い情報系の(I類)(117)が2016年度に募集方法と募集人数の変更を行ったが、2017年度以降4年連続増加。一方で、融合系の(II類)(95)は3年連続減少、理工系の(III類)(97)は2年連続減少。